

1 はじめに

仲町小学校では、『「強く、正しく、美しく」保護者・地域とともに歩む仲町っ子の育成』という教育目標の下、学校・家庭・地域で児童を育てる信頼と活力のある学校づくりや、地域の人的・物的資源を生かし、児童が主体となって学ぶ授業づくり等に取り組んでいる。また、生活科では、身近な人・社会・自然に働きかけ、生き生きと活動できる児童を育成するため、「体験活動を効果的に取り入れ、意欲的に活動できる場の設定と知的な気づきを大切にする活動の工夫」「感じたことや体験したことを効果的に表現できる支援の方法の研究」という目標を立てて実践を行っている。

今回は、2年生の「わたしの町はっけん」の事例を紹介する。

本校の周りには、神社、仲町交流センターなどの施設や、せんべい屋、魚屋など地域に根ざした個人経営の店が豊富にある。これらの地域の素材を生かすことは、子供たちの身近な生活の場を取り上げることであり、生き生きとした活動につながると考える。この実践を通して、児童が普段生活している自分の町について興味を持ち、そこで生活する地域の人との関わりを考えられるようにしたい。

2 指導案

(1) 単元名 わたしの町はっけん

(2) 単元の目標

- 自分たちが住む町を探検し、様々な場所や人に出会いながら、町への親しみと愛着を深めることができる。(生活への関心・意欲・態度)
- 自分の好きな場所や人、心に残った出来事などを工夫してまとめ、伝えることができる。(活動や体験についての思考・表現)
- 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所と関わっていることがわかり、地域のよさに気付くことができる。(身近な環境や自分についての気づき)

(3) 単元について

① 児童観

本学級の児童は、自然や生き物への関心が高い児童が多く、生活科の学習に意欲的に取り組んでいる。また、地域の行事に積極的に参加する児童も多く、地域の人々と関わりながら生活している。一方で、地域の施設について深く知っている児童は少ない。このような実態を踏まえ、仲町学区のことを調べ、深く知ることにより地域に親しみや愛着を持ち、自分の生活との関わりに気付かせたい。

② 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(3)地域と生活、(4)公共物や公共施設の利用、(8)生活や出来事の交流を受けて設定されている。本校は、前述の通り神社

や交流センターなどの施設や個人経営の店が豊富であるが、児童の日常生活の中で利用する機会は多くない。そのような中で、実際に足を運び、働く人に話を聞くことは、普段の生活では気づかない地域の良さに気付くことができ、そして自分の生活と地域の施設や人々との関わりを考える機会になると考える。

③ 指導観

本単元では、「体験活動の効果的な設定」「感じたことや体験したことを効果的に表現できる支援」のため、2つの工夫を行う。

1つ目は、調べる施設を決める前に、クラス全員で仲町学区を歩き、どのような施設や建物があるか実際に見学する。そして、興味を持った場所が同じ児童同士でグループを作り、インタビューの準備を行う。このように児童が実際に見ることで、児童がより施設に対して興味を持ち、活動に意欲的に取り組むことができ、また、児童の気づきの質や学びの質が高まると考えた。

2つ目は、見学後に発表の方法を考える時間を設定する。具体的には、

- ・教師が紙芝居や新聞などの例を出し、「どんな発表をすればより相手に伝わるか」という視点を与える。
- ・児童ひとりひとりが発表方法を考える。
- ・周りや全体で考えを共有する。
- ・グループで話し合いを行い、表現方法を決定する。

このように、発表の方法について考えることで、児童が町探検を通じて得たことを効果的に表現でき、児童の気づきが深まると考えた。

(4) 指導・評価計画

第1次 町にははっけんがいっぱい・・・・・・・・・・・・・・・・・・10時間

第2次 みんなのはっけんをあつめよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・12時間

次	時	主な学習内容	観点別評価規準（評価の方法）
2	1	・町探検で見つけたことを伝え合う。	・互いに町探検で見つけたことを伝え、次に探検したい場所や知りたいことを決めている。（発言、ワークシート）
	2	・グループを作り、2回目の町探検の計画を立てる。	
	3		
	4		
	5	・交通ルールや施設でのマナーを確認する。	・地域には様々な場所があり、そこで働く人々がいることを知り、地域の良さに気づいている。（発言、ワークシート）
	⑥		
	⑦	・町探検に出発し、インタビューを行う。	
	⑧		
	9	・町探検で気づいたこと、発見したことをまとめる。	・町探検で気づいたこと、発見したことをまとめることができる。（ワークシート） ・発表する方法を考えることができる。（発言、行動）
	10		
	11	・グループごとに町探検で発見したことを発表する方法とその内容を決める。	
	12		

第3次 みんなにつたえよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・8時間

(5) 展開

① 本時の目標

地域の施設を見学したり、インタビューをしたりする活動を通して、自分の住む地域の特徴や良さに気づくことができる。(身近な環境や自分についての気づき)

② 準備物

- ㊦ 町探検のしおり ㊦ 筆記用具 ㊦ 探検バッグ ㊦ 水筒 ㊦ 安全帽子
㊦ カメラ

学習活動及び内容	形態 資料	指導上の留意点と評価
1 本時のめあてを知る。 町たんけんにてかけて、地いきのよいところを見つけよう	全体	・本時のめあてを確認し、どの児童もめあてを持って活動できるようにする。
2 交通ルールやインタビューする時のルールを確認する。 ・道を渡る時は「ピタッと止まって右左、右手を挙げてさあ渡ろう」だね。 ・飛び出しやはみ出しはしないよ。 ・施設の人にはしっかりとあいさつをしよう。 ・丁寧な言葉を使おう。	全体 ㊦	・交通ルールを忘れないよう、意識させる。 ・施設の中では走り回らない、品物を触らないなどのルールを確認する。 ・どのようにインタビューをすれば相手が気持ちよく答えられるかを考えさせる。
3 町探検に出かける。 ・地域の良さに気づくという視点を確認する。 ・グループごとに事前に計画したルートで町探検をする。 ・前時までに考えた質問事項を基にインタビューをする。 「何年前にできましたか」 「おいしい○○を作る秘密は」 「嬉しかった事は何ですか」 ・見つけたこと、分かったことはすぐにメモをとる。	グループ ㊦㊦ ㊦㊦ ㊦㊦	・あいさつや丁寧な言葉遣いができている児童を褒める。 ・用意した質問だけでなく、その場で感じたことや考えたことについて質問できるよう励ます。 ・活動中の児童のつぶやきや行動を認め、賞賛する言葉かけを行う。
4 学習の振り返りをする。 ・振り返りをワークシートに記入し、班ごとに発表する。	グループ ㊦㊦	㊦町探検を通して地域の良さに気づくことができたか。 (観察・ワークシート)

3 資料



活動の様子①



活動の様子②



紙芝居を使った発表



クイズでの発表

4 成果と課題

(1) 成果

調べる施設を決める前に、クラス全員で仲町学区の施設や建物を見学してから、インタビューを行う施設を選んだことで、児童の興味が高まり、事前準備の段階から「どんなことを質問するか」「何を見るか」など、話し合い活動が活発に行われた。町探検中は、事前に用意した質問だけでなく、その場で気づいたことを積極的に質問するなど、児童の生き生きとした活動が見られた。

振り返りでは、「自分の家の近くにこんなに昔からある建物があるのはすごい」「せんべいをやくところを見て、すごいと思った」など、地域の良さや働く人々の生活に気づくことができたものも多く、いつも何気なく通り過ぎる場所も、実際に調べると新たな発見があったようである。

分かったことを伝えたいという児童の思いが強く、多くのグループで発表に向けてその方法や内容を活発に話し合うことができた。その結果、紙芝居や人形劇など、多様な方法で発表が行われ、他のグループの発表からさらに気づきの質が高まった。

(2) 課題

移動時間を含めて1つの施設につき25分の活動時間をとったが、商店などでは、インタビューや見学が早く終わってしまうグループが見られた。予め時間を短くし、より多くの施設を見学できるように改善する必要がある。

児童の興味を生かしたり、身近な生活に目を向けさせたりすることで、児童が主体的な活動を引き出せることが分かった。今後は児童がさらに生き生きと活動し気づきの質が高められるよう、児童の実態に応じた教材研究や授業作りをしたい。